地域で取り組む標茶町乳質HACCPへの支援

～　関係機関が一丸となって衛生管理の向上へ　～

活動年次：平成28年～32年

本所広域　情報・クリーン・有機

1　課題設定の背景 **********

対象：JAしべちゃ管内農業者

乳質事故の増加、衛生的乳質の悪化などの課題を、啓発活動だけでなく、ＨＡＣＣＰシステムを取り入れた乳質改善を目指した。

課題

乳質事故の増加！！

衛生的乳質の悪化！！

これまでは啓発活動のみ

新たな発想で

HACCPシステムを取り入れた乳質改善！！

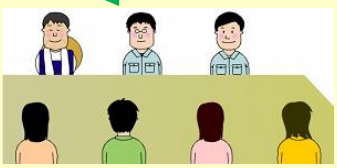
普及センターは関係機関とともに情報収集、取組方法の提案を行いながら支援を行った。

2　活動の経過 **********

【HACCP活用の事例収集】

・山酪ハサップ認証基準（山形県）
・静岡県でのISO22000取得事例
・北海道での農場HACCP認証事例

みんなで勉強し情報を共有することで、関係職員が統一した話が出来るようになったのが良かった。



【HACCP指導員・審査員資格の取得】

青年農業者及び関係職員18名が取得

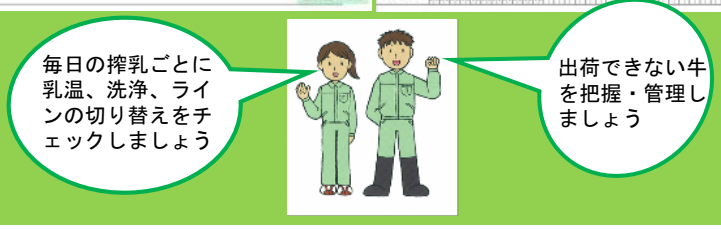
【乳質改善を目指す乳質HACCPの取組】

２つのチェックシートを生乳出荷農家全戸に配布し記帳を促した。

取組向上のために全農場を関係機関と共に巡回し点検。同時に、生乳管理記録、飼養衛生管理基準の点検をし、点数化し、点数の低い項目を次年度の重点目標へ繋げた。

「乳質ハサップシート」

「出荷できない牛管理表」

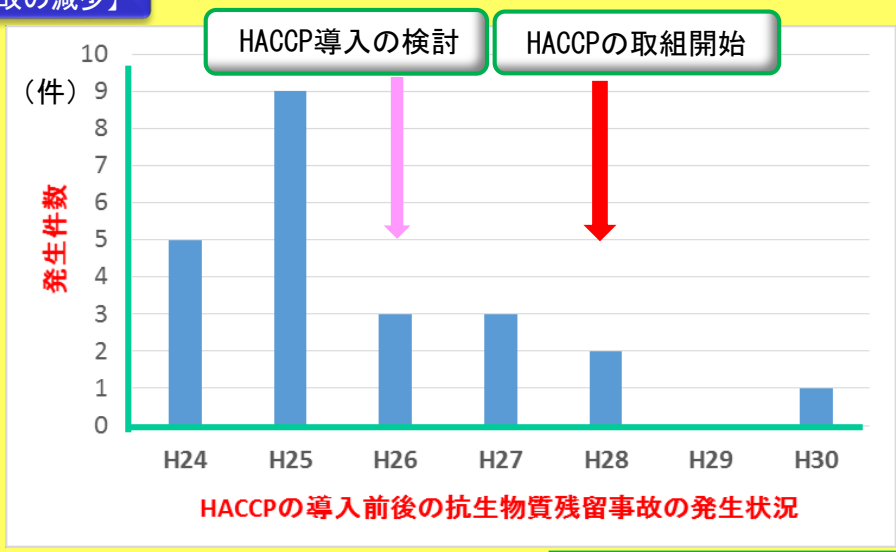


3　活動の成果 **********

【ＨＡＣＣＰ推進会議の設立】

関係機関の合意、連携のため「標茶町酪農ＨＡＣＣＰ推進会議」を設立した。
・「標茶町乳質ＨＡＣＣＰ」を作成し、ＨＡＣＣＰ計画を農場、関係機関で共有し達成度合いを確認
・活動の点検を行い、自記温度計マニュアルの追加、ロボット搾乳農場への対応検討をしながらＨＡＣＣＰの充実を図った。

【乳質事故の減少】



・ハサップシート記帳による確認と意識の変化
・研修会・巡回調査による啓発活動
・地域で関係機関が常に話題にする
などにより、乳質事故が減少する効果が現れている。

【農業者の声】
・やるべきことをやったか一目で再確認できる。
・うっかりミスが絶対ないとはいえないが起こり得る危害を極力減らすことができるだろう。

【個別経営体での農場HACCP認証への波及】

認証を受けたＡ農場

【HACCP認証農家の声】
「農場内の共通のルールが明確になったことで、経営者・従業員がお互いに逸脱にすぐ気付けるため、仕事がやりやすくなった。」

・地域でのHACCPの取組に理解を示し、さらに衛生管理向上を目指した法人が、2018年３月に農場HACCP認証を取得。

・さらに、町内では農場HACCP認証の取得を目指し農場内で検討する農家、HACCPシステムの作成を開始した農家、認証の取得は目指さないもののシステムの導入を検討する農家など、波及しつつある。

4　今後の活動 **********

〇地域でのHACCPへの取組に対し、情報の収集、発信、支援を行う。